

最先端科学講演会

10月5日（金）に本校体育館において、1学年の生徒を対象に「SP科学」の取組みのひとつとして最先端科学講演会を実施しました。この講演会は、最先端の科学技術研究者の講演を通して、科学の素晴らしさを理解するとともに、適正な進路選択ができることを目的として実施されています。

今年は講師として、国立研究開発法人産業技術総合研究所活断層・火山研究部門主任研究員の宮城磯治先生をお招きしました。宮城先生は有珠山、三宅島、浅間山、新燃岳、桜島、御嶽山などの噴火の緊急対応や肘折火山、屈斜路火山などにおける原発の防災のための研究、阿蘇火山における超巨大噴火の研究を行っている研究者であり、今回は「火山研究の日常一普段の風景から最先端を掘り出せー」という演題で講演をしていただきました。また、お土産に、2種類の石をいただきました。これらは阿蘇山の溶岩が冷えてできた石で、気泡がたくさんあり軽石のようなものでした。今後地学の授業などで活用したいと思います。

近年は地球の活動が大変活発で、我々の生活に大きな影響を与えているというニュースが多いこともあり、生徒たちはとても一生懸命に話を聞き、講演後には質問をしていました。実際に火山が噴火したときのデータなども提示していただき、噴火や火山性地震の特徴から、その後の火山の活動が予想できるというお話もありました。このようなお話から、自分が地震や火山の被害にあった時にどのような行動をとればよいのか、その後のどのような点に留意して行動するべきなのか、といった自分事として考えなければいけないというお話もあり、とてもためになった様子でした。

なお、この事業は、創意・工夫ある事業計画を提示する学校を対象に県教育委員会が支援を行う「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」により実施しています。



講演の様子



講演の様子



生徒からの謝辞



頂いた石